

# 横浜市立杉田小学校 令和3年度 体育・健康プラン

## ～体育・健康に関する指導の全体計画～

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○信頼関係をすべての教育活動の基盤とし、子どもが安心・安全で過ごし、「まち」とともに歩む学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科・杉田の時間を学級経営の核とし、子どもが学ぶ楽しさを実感でき、表現力を大切にして学力の向上を図ります。</li> <li>・一人ひとりの思いや願いを大切にし、また、自信をもって行動できるようにし、子どもの自尊感情を育みます。(特別支援教育、国際教室の運営などを個のニーズに合わせて行います。児童理解も丁寧に取り組みます。)</li> <li>・基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに健康な日々を送れるようにします。</li> <li>・豊かな体験と人とのかかわりを通して、「まち」とともに生きる子どもを育てます。</li> </ul>	

#### (2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

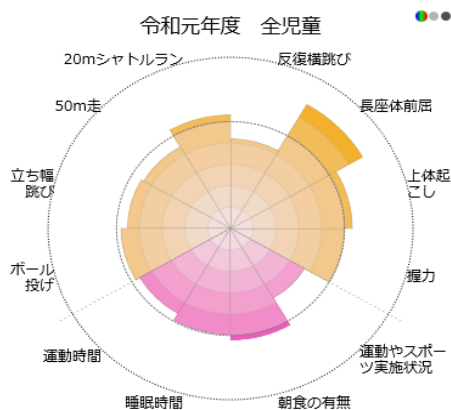
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①長縄集会を2回開催する。②短縄を年間を通し取り組む。③体育科単元計画の作成をする。④体育科年間計画の作成し、各学年の学習での指導事項を明確にする。⑤体育時の約束(教師版・児童版)作成する。⑥体育備品一覧の作成する。
担当	体育部

### 2 体育健康に関する実態把握

#### (1) 体育・健康に関する実態

- ・新体力テストの結果から、30年度と令和元年度の児童の体力には大きな変化がなかった。ただ、50m走や長座体前屈の数値が、成長していることがわかった。
- ・生活状況調査によると、基本的に毎朝、朝ご飯を食べて登校している。睡眠時間の平均を見ても、市平均とは大きな差はなかった。

#### (2) 体力の概要と要因の分析(小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



「長座体前屈」と「反復横跳び」の結果に関しては、昨年度と差異があるように見られるが、児童の運動時間・スポーツ実施状況に大きな違いが見られないため、今年度はその差異について言及できない。また、他の種目に関しては、昨年度と大きな変化が見られない結果だった。今後必要なこととしては、各学年での体育学習における系統性を意識した学習の継続と体力・運動能力テストの測定方法や測定時の声かけの仕方の共有や徹底が必要だと考える。

## 教科

### 《体育科での取組》

- ・体育科では、6年間における種目や運動能力の関連性の明確化する。段階的・発展的内容になる授業の計画と実践をすることで、進んで運動する楽しさや喜びを味わえる体育科学習の推進をする。

### 《他教科での取組》

- ・家庭科では、自らの生活の様子を見つめ直したり献立作成を行ったりして、自らの食生活を見つめ、改善できるような取組をする。また、健康についての知識や理解を深める。

## 道徳・特活・総合

- ・食教育年間計画に基づいた食育の実施や、年間数回の「給食残食料調査」および残食が少ない学級の表彰を通して、給食の残食率を減らす取り組みをする。また生活習慣を振り返る活動を通して、「早寝」「早起き」「朝ごはん」の推進を行う。

## 課外活動

- ・全校集会を生かした運動集会の実施。
- ・運動委員会を主催とした全校なわとび集会の実施。

## 令和元年度 杉田小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 校内なわとび大会

《ねらい》 健康・体力づくりを推進し、体力の向上・健康の保持促進を図ろうとする態度の育成を図る

《内容》 なわとび（長縄）の試技と、それに向けた中休みにおける練習。ならびに、記録会。

●指標： ①行事後の振り返り 「事前取組」「満足度」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

<参考> 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童（生徒）の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」

## 4 事故発生時の対応

### 緊急時の連絡体制・役割分担

